

# 一般質問 町政を問う



14議員が質問

一般質問とは、議員が町の行財政全般に対し、疑問点を質問し確かめることです。会派の代表が質問する「会派代表質問」と、個々の議員が質問する「個人質問」があり質問時間は答弁を含め50分以内です。

ページ

質問者(登壇順)

質問事項

7 森田 義弘 ・たけとよゆめたろうプラン第10次実施プログラムについて

8 青木 宏和 ・コミュニティバスについて

9 甲斐 百合子 ・平成30年度予算について  
・地域活性化の取り組みについて

10 上 岩瀬 計介 ・屋内温水プール建設計画について

下 福本 貴久 ・2019年5月1日からの新元号への対応について

11 上 久野 勇 ・北部地域づくりについて

下 本村 強 ・子ども食堂について

12 上 富永 良一 ・若者支援と未婚率について

下 大岩 保 ・武豊町誌の改訂について  
・結婚記念日お祝い事業について

13 上 石川 義治 ・水道事業の中長期計画の策定について

下 石原 寿朗 ・平成30年度予算について  
・障がい者雇用促進について

14 上 櫻井 雅美 ・子育て支援関連の事業計画について  
・義務教育にかかる保護者負担と教材による児童生徒の身体的負担について

下 梶田 進 ・2018年度予算について  
・被災者生活再建支援事業費補助金について  
・中学部活動の朝練習の中止を

15 上 青木 信哉 ・快適な学習環境について



政和クラブ  
森田 義弘 議員

# 実施プログラムと予算 について問う

## 「まちづくりの礎」を築いていく

**問** 実施プログラム策定の目的および対象事業は。

**答** **企画部長** 第5次武豊町総合計画・後期戦略プランに、掲げる将来像の「心つなぎ みんな輝くまち 武豊」の実現に向けての計画である。

また、まちづくりの礎となる総合計画の、7つの基本目標の達成を目的とし、分野別に掲げられた、22項目の将来像をもとに、向こう3九年の事業内容を明らかにして、各年度の予算編成の、指針とするため策定をしている。

実施プログラムへの、掲載事業については、一定の周期で実施する大事業、新規事業、普通建設事業および特別会計への繰出金を、対象としている。

**問** 実施プログラムと予算案との関連性は。

**答** **企画部長** 新規事業の積極的な創出、発掘に努めるとともに、現行事業の徹底

した見直しを行い、実施プログラムに反映することとしている。予算への要求は、実施プログラムでの査定内容に準拠し、実施事業として、掲載されていることが基本となっている。

平成30年度予算の要求については、第10次実施プログラムが、平成30年度から32年度までの計画であるため、原則として、今年度の実施プログラムへの計上が必要となる。

**問** 進めるべき施策の今後の見通しは。

**答** **町長** 平成30年度は将来を見据え、まちづくりの「礎」を計画的に築いていく大切な時期と考えている。ここ数年は財政的に厳しい状況が続くことが予測される。今が先を見据えて準備をする時だと考え、武豊町の将来のまちづくりの「礎」となる、新たな第6次総合計画を、2020年度の策定に向けて、作業を開始する。

**問** 実施プログラムに掲載されていない事業で、平成30年度予算案に盛り込まれた事業はあるか。

**答** **企画政策課長** 「ふるさと巡回点検」において、河川の底に土砂がたまり、草や雑木が生え、水の流れが悪くなっている箇所が確認された。安全・安心の観点から、実施プログラムには掲載されていないが、予算案にはその対応に関する費用を盛り込む形となっている。

**問** 「子ども医療費の助成拡大」について本町の考えは。

**答** **町長** 現行の助成内容は県下でも平均的であると考えるが、少子化対策、子育て世代の経済的な負担軽減を図るために、助成対象年齢を高校卒業まで拡大する動きも出ている。助成制度の拡大については、調査研究課題とし、県および近隣市町の動向などを注視していく。



■平成30年度予算書・たけとよゆめたるうプラン



きずな  
青木 宏和 議員

# 問 青山駅への乗り入れは

## 答 地域公共交通会議で協議する

平成27年4月に「武豊町地域公共交通網形成計画」が策定された。

計画では、平成30年度に中間評価、平成33年度に事業評価となっている。

### 平成30年度中間評価を実施

**問** 平成30年度の中間評価では、どのような評価を行うのか。

**答** **総務部長** 中間評価の評価項目は、3つの指標がある。

1つ目は路線別利用者数の推移、2つ目は財政支援額の推移、3つ目はサービス満足度の測定である。

**問** 評価の判断基準は。

**答** **防災交通課長** 目標値を設定している。路線別利用者数の推移は対前年度比プラス、財政支援額の推移は現状の支援額以下、サービス満足度の測定はアンケート調査によるサービス満足度の向上である。

### 利便性の向上と地域に親しまれるコミュニティバスに

**問** 平成32年に知多武豊駅東にロータリーが整備され、平成34年4月には屋内温水プールが開設される。

野菜茶業研究所跡地には防災公園が整備される計画となっている。

コミュニティバスの運行計画を大幅に変更する必要があると思うが考えは。

**答** **町長** 具体的な各施設の整備時期が確定した時点で、速やかな路線の再編を地域公共交通会議に諮る。

また、大幅な路線変更をする際は、車両数や車種などの見直しや、経費との兼ね合いもあるので、平成34年度の次期計画策定時に行うことになる。

多くの方に親しまれ、利便性の向上につながるような次期計画にする必要があると考える。

### 半田市との連携を検討

**問** 近隣市町との連携は。

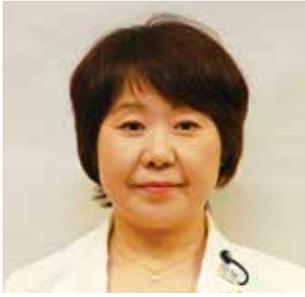
**答** **総務部長** 近隣市町との情報共有を密にして、どのような連携を図るか検討していく。

**問** 青山駅への乗り入れは。

**答** **防災交通課長** 電車への乗り継ぎや、半田市との連携もとれるので、利便性の向上につながるかと考えている。赤ルートの時間を大幅に変更することなく青山駅に乗り入れることができるので、地域公共交通会議で協議していただく。



■武豊コミュニティバス「ゆめころん」



公明党議員団  
甲斐 百合子 議員

# 区長からの相談窓口の 一本化を

## まずは総務課に来てほしい

### 新年度予算を問う

**問** 最も力を入れ、平成30年度予算に反映された事業は何か。

**答 町長** 平成30年度予算は「安全で安心なまちづくり」「将来のまちづくりの『礎』」となるよう、まちの骨格づくりに向けた施策を展開し、かつ持続可能な財政運営を図ることを基本理念として、「安全で安心なまちづくり」に最も意を配した予算編成とした。

「ハード事業」では防災機能を有した公園整備とし



■玉西1区自主防災会 可搬ポンプ訓練の様子

て、野菜茶業跡地の用地買収費や、歩行者の安全確保のための「知多武豊駅東地区画整理事業」。

「ソフト事業」では、一次避難所などにWiFi環境整備や感震ブリーカー設置費補助金の新設。

「安心安全の子育て」という点では、

- 軽度・中等度難聴児の補聴器購入の一部助成。
- 新生児聴覚検査費用の一部助成。
- 児童クラブの対象学年を6年生まで引き上げ。
- 新学習指導要領に即した英語指導助手の増員。

### 地域活性化の核は「区」

**問** 区に委託している事業は何か。

**答 総務部長** 区に委託している項目としては、

1. 町が発行する広報紙など印刷物の配布。
2. 区民の要望などの取りまとめと各種立会。
3. 防犯・防災活動の実施と意識の高揚。
4. 地域の環境整備。
5. 各種連絡・報告と確認。
6. 各種委員などの推薦。
7. 公聴会などの実践。
8. 施設などの維持管理。
9. 非常時における情報連絡・応急復旧作業と協力や被害調査。
10. 共同募金などへの協力。
11. 草刈りなど各種行事への協力。
12. 未加入世帯への加入促進。以上が主な委託内容となる。

**問** 区の活性化のための取り組みは何か。

**答 企画部長** 「地域活動推進交付金制度」がある。

(1事業につき2万円まで1年度内で3事業まで)

**問** 1〜3事業で上限を6万円にして、活性化の取り組みをしやすく見直してはどうか。

**答 企画部長** 今のところ、区長からのご意見はない。制度見直しの時期がきたら検討したい。

**問** 仕事をもつ区長も多い。区長会を夜の開催にしてはどうか。

**答 町長** 過去に一度、夜に区長会を開催したが、昼開催への要望で戻った経緯がある。区長からのご意見があれば、検討していく。